

**2015年3月期**  
**(第2四半期累計期間)**  
**連結決算説明資料**

双葉電子工業株式会社

2014年11月7日

# 目次

- 経営施策の状況 P 1 ~ 4
- 連結決算のポイント P 5
- 業績ダイジェスト P 6 ~ 7
- 営業利益増減分析 P 8
- セグメント別業績状況 P 9 ~12
- 四半期別業績推移 P13 ~14
- 貸借対照表の概要 P15
- キャッシュ・フロー P16
- 業績見通し P17 ~19

## 電子部品事業

- ウェアラブル製品向け(フィルムタイプ)有機ELディスプレイの販売拡大
- 海外拠点における純正車載向けタッチパネルの生産能力増強準備
- 車載向けヘッドアップディスプレイの機能性向上による販売拡大
- POS用途向けディスプレイの新興国への販売拡大
- 有機EL用乾燥剤(OleDry-F)の用途拡大に向けた機能性強化準備



ウェアラブル製品向け  
有機ELディスプレイ



車載向けタッチパネル



車載向けヘッドアップディスプレイ

# 経営施策の状況(1)事業拡大施策

## 電子機器事業

- 機体ラインアップの拡充や上級者向けカー用プロポの投入によるホビー用ラジコンの販売拡大
- 産業用分野(トラッククレーン・農業用)における無線機器の販売拡大
- コマンド方式サーボモーターやアクチュエータの新分野への展開継続
- ロボット用機能部品の手先パートワーク(分冊百科)販売会社への拡販継続



スカイリーフ  
(模型飛行機組立キット)



4 P X  
(模型カー用プロポ)



農業用無線機器  
(ヤマハ発動機株式会社様ご提供)

## 生産器材事業

- ホットランナーシステムとして金型への組付が容易なコンパクトランナシリーズを拡充
- モールドマーシャリングシステムの製品ラインアップ拡充と海外市場への展開
- プレート事業での材質追加および価格の全面改訂による販売拡大
- 三光合成株式会社との資本業務提携による金型、成形関連事業の強化



簡易型ホットランナーシステム  
(コンパクトランナシリーズ)



モールドマーシャリングシステム  
(アナログ出力型アンプ) ※11月発売予定



フリスフリープレート  
(製品リーフレット)

# 経営施策の状況(2) 継続的な収益改善施策

## 電子部品事業

- 有機ELディスプレイおよびタッチパネルの生産性向上によるコスト低減
- 蛍光表示管およびモジュールの生産性向上によるコスト低減
- 部品・材料の最適地調達によるコスト低減

## 電子機器事業

- グローバルな最適地生産体制の構築および現地調達率引き上げによるコスト競争力の強化
- 台湾子会社への開発業務の移管と設計開発能力の向上による製品投入の迅速化

## 生産器材事業

- 国内および海外生産拠点の構造改革による収益力の改善
- 鋼材のグローバル調達の推進によるコスト低減

# 連結決算のポイント

## ■ 連結売上高

主にアジア市場が好調に推移したことや、円安による為替の好影響により、前年同期に対して34億円増収

## ■ 連結営業利益

固定費の増加に伴う減益要因があったものの、売上げの増加により、前年同期に対して2億円増益

## ■ 連結当期純利益

営業利益の増益に加え、円安の影響による外貨建資産・負債の評価に伴う為替差益7億円を営業外収益に計上したことなどにより、12億円の最終利益となる

# 業績ダイジェスト(1)

(金額単位:百万円)

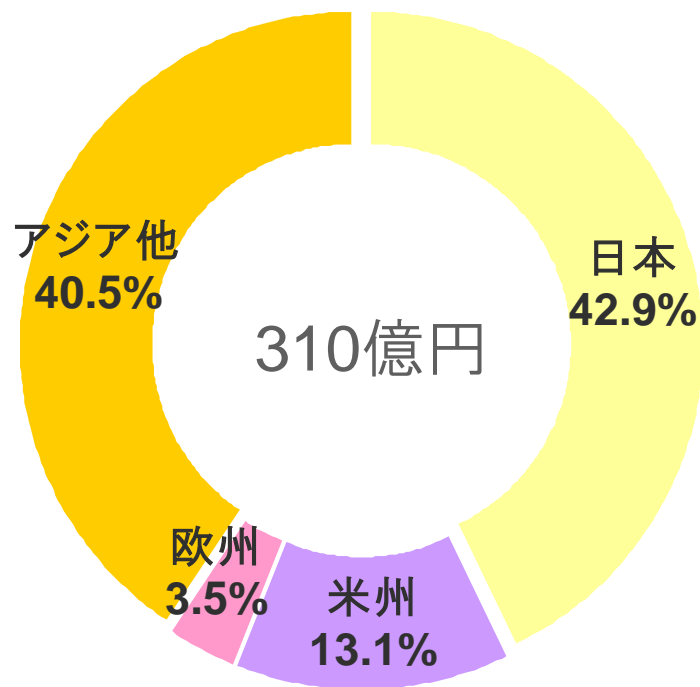
	'13年度		'14年度		'14年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	30,995	33,354	33,600	<b>34,385</b>	785	102.3%	3,389	110.9%	1,031	103.1%
営業利益	872	1,343	900	<b>1,036</b>	136	115.2%	164	118.8%	<b>▲306</b>	77.2%
利益率(%)	(2.8)	(4.0)	(2.7)	<b>(3.0)</b>						
(為替差損益)	(266)	(535)	<b>(▲305)</b>	<b>(689)</b>	(994)	—	(423)	259.1%	(154)	128.9%
経常利益	1,642	2,144	1,000	<b>2,133</b>	1,133	213.4%	491	129.9%	<b>▲11</b>	99.5%
利益率(%)	(5.3)	(6.4)	(3.0)	<b>(6.2)</b>						
税引前当期純利益	1,598	1,786	950	<b>2,097</b>	1,147	220.8%	498	131.2%	310	117.4%
利益率(%)	(5.2)	(5.4)	(2.8)	<b>(6.1)</b>						
当期純利益	916	880	100	<b>1,178</b>	1,078	1178.1%	261	128.6%	297	133.8%
利益率(%)	(3.0)	(2.6)	(0.3)	<b>(3.4)</b>						
設備投資	2,793	3,285	6,700	<b>3,336</b>	<b>▲3,363</b>	49.8%	543	119.5%	51	101.6%
減価償却費	1,722	1,956	2,000	<b>1,892</b>	<b>▲107</b>	94.6%	169	109.9%	<b>▲63</b>	96.7%
研究開発費	1,054	837	900	<b>771</b>	<b>▲128</b>	85.7%	<b>▲283</b>	73.1%	<b>▲66</b>	92.1%
国内	1,398人	1,375人	1,377人	<b>1,380人</b>	3人		<b>▲18人</b>		5人	
海外	3,678人	3,804人	3,984人	<b>3,865人</b>	<b>▲119人</b>		187人		61人	
人 員	5,076人	5,179人	5,361人	<b>5,245人</b>	<b>▲116人</b>		169人		66人	
平均為替レート	98円/\$	102円/\$	100円/\$	<b>104円/\$</b>	4円/\$		6円/\$		2円/\$	



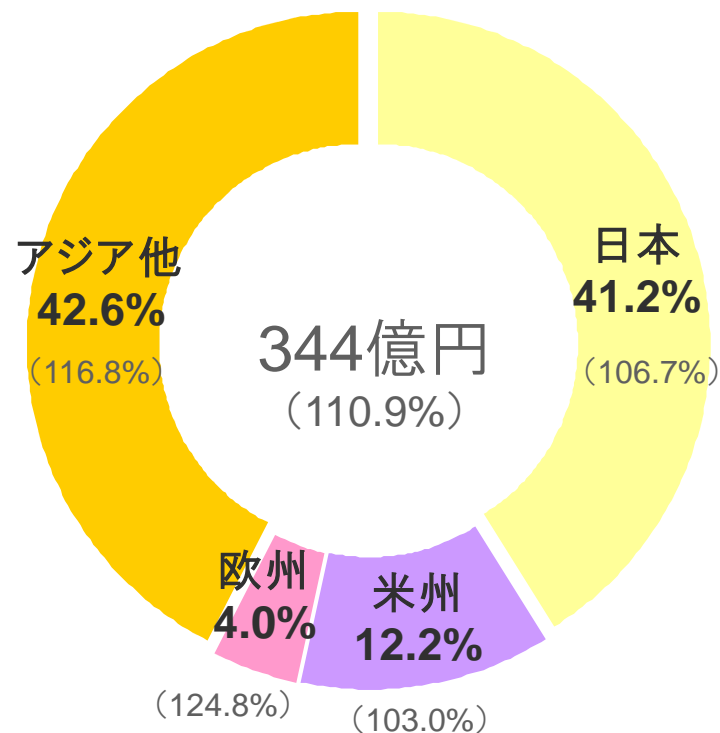
# 業績ダイジェスト(2)

## 市場地域別売上高構成比

※( )内は前年同期比



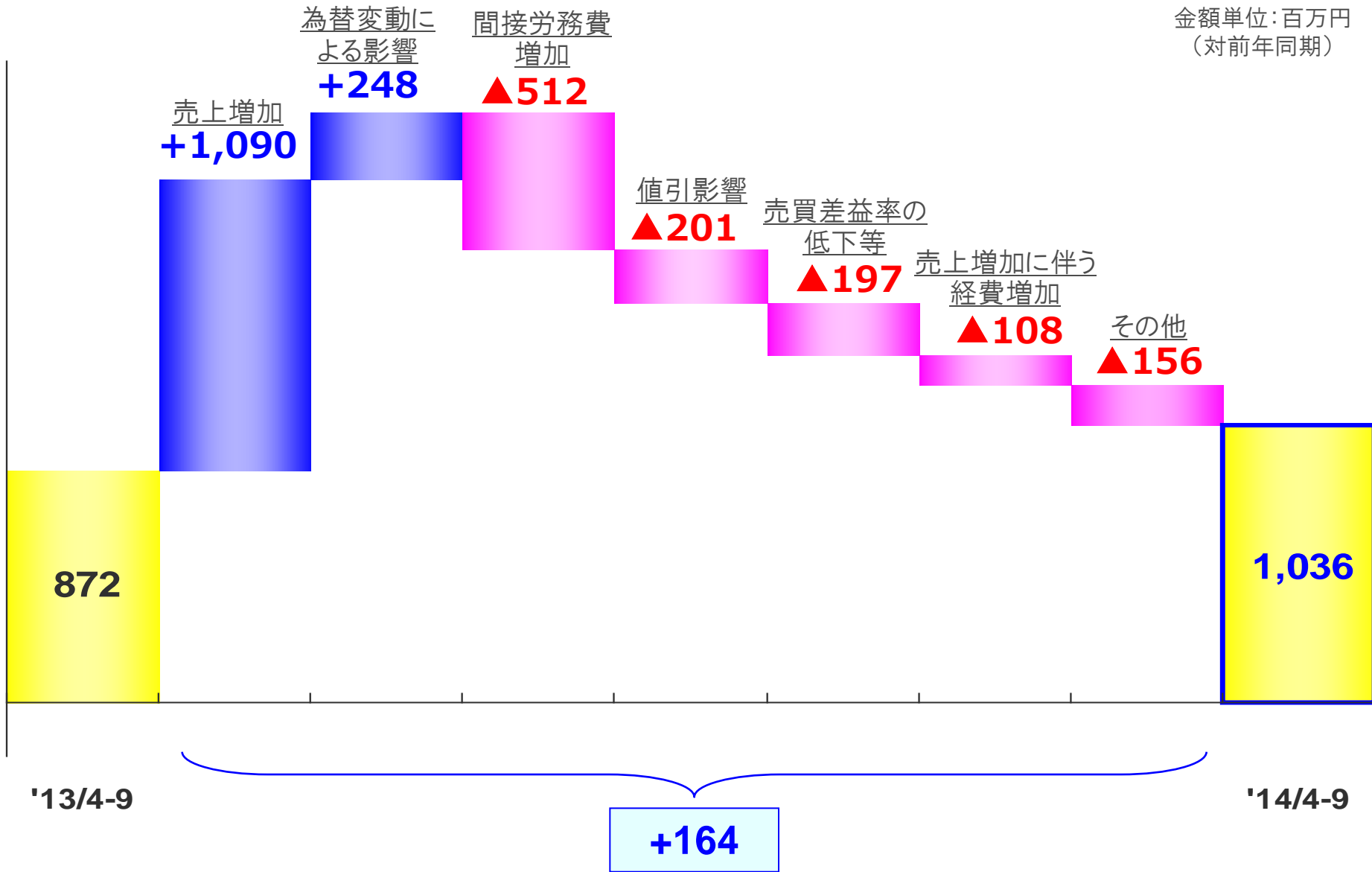
'13/4-9



'14/4-9

# 営業利益増減分析

金額単位：百万円  
(対前年同期)



# セグメント別業績状況（電子部品事業）

（金額単位：百万円）

	'13年度		'14年度		'14年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	11,725	12,308	12,200	<b>12,530</b>	330	102.7%	804	106.9%	221	101.8%
営業利益	▲994	▲1,028	▲1,100	<b>▲1,444</b>	▲344	—	▲449	—	▲416	—
利益率(%)	(▲8.5)	(▲8.4)	(▲9.0)	<b>(▲11.5)</b>						
設備投資	1,504	1,129	3,100	<b>1,977</b>	▲1,122	63.8%	473	131.5%	848	175.1%
減価償却費	779	900	900	<b>845</b>	▲54	93.9%	65	108.5%	▲55	93.8%
研究開発費	681	533	600	<b>483</b>	▲116	80.6%	▲198	70.9%	▲50	90.6%

※ セグメント別の売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

- 蛍光表示管は、音響用途は前年同期並みとなったものの、主力である車載用途が消費税率引上げによる国内新車販売台数の減少などの影響により低迷し、売上げは前年同期を下回る。
- 蛍光表示管モジュールは、主力であるPOS用途が好調であったことから、売上げは前年同期を上回る。
- 有機ELディスプレイは、前期に本格参入した車載用途および通信機器用途が大幅に増加し、売上げは前年同期を上回る。
- タッチパネルは、車載用途が順調であったことから、売上げは前年同期を上回る。

# セグメント別業績状況（電子機器事業）

（金額単位：百万円）

	'13年度		'14年度		'14年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	4,367	4,663	4,500	<b>5,108</b>	608	113.5%	741	117.0%	445	109.5%
営業利益	871	1,047	800	<b>1,123</b>	323	140.5%	251	128.9%	76	107.3%
利益率(%)	(20.0)	(22.5)	(17.8)	<b>(22.0)</b>						
設備投資	103	86	100	<b>132</b>	32	132.5%	28	127.4%	46	153.9%
減価償却費	100	96	100	<b>105</b>	5	105.0%	4	104.9%	8	108.6%
研究開発費	173	169	100	<b>173</b>	73	173.9%	<b>▲0</b>	100.0%	4	102.8%

※ セグメント別の売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

- ホビー用ラジコン機器は、カー用プロポの高級機である「4PX」や模型飛行機スカイリーフの最新モデルを投入したことに加え、欧米市場が回復したことから売上げは前年同期を上回る。
- 産業用ラジコン機器は、トラッククレーン向けのテレコントロール製品の需要が堅調であったことなどから売上げは前年同期を上回る。
- ロボット用機能部品は、大手パートワーク(分冊百科)販売会社に供給しているコマンド方式サーボモーターを海外でも販売したものの、売上げは前年同期並みとなる。

# セグメント別業績状況 (生産器材事業)

(金額単位:百万円)

	'13年度		'14年度		'14年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	14,908	16,382	16,900	<b>16,748</b>	▲151	99.1%	1,840	112.3%	365	102.2%
営業利益	995	1,324	1,200	<b>1,356</b>	156	113.1%	360	136.2%	32	102.4%
利益率(%)	(6.7)	(8.1)	(7.1)	<b>(8.1)</b>						
設備投資	1,184	2,069	3,500	<b>1,226</b>	▲2,273	35.0%	41	103.5%	▲843	59.3%
減価償却費	843	958	1,000	<b>942</b>	▲57	94.2%	98	111.7%	▲16	98.3%
研究開発費	199	135	200	<b>114</b>	▲85	57.1%	▲84	57.3%	▲20	84.6%

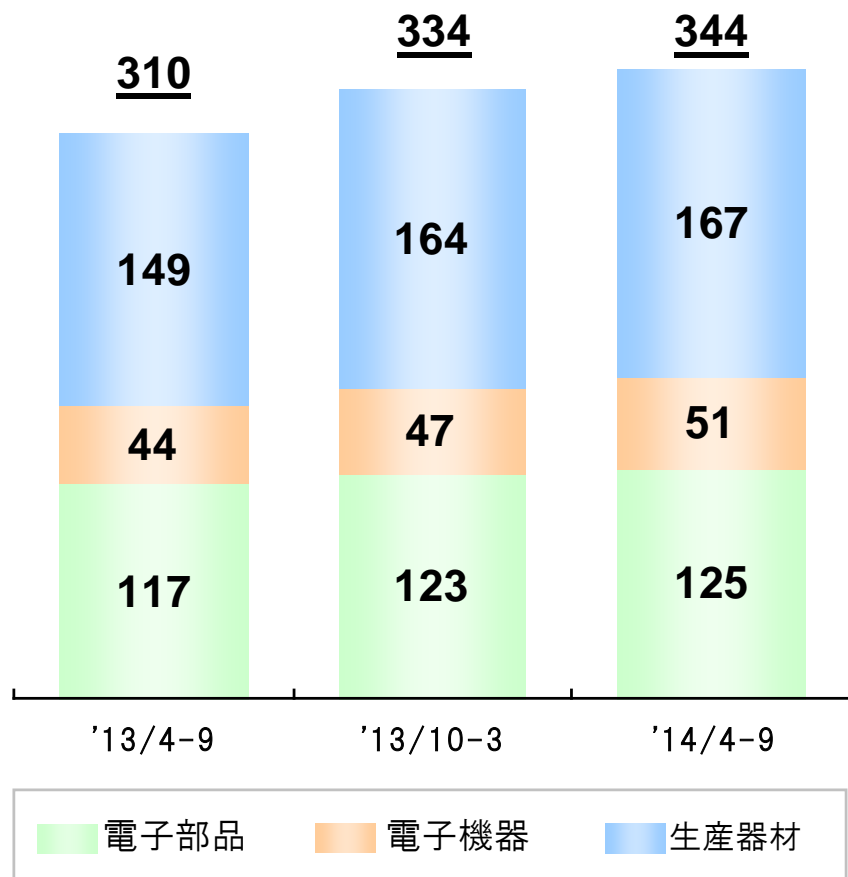
※ セグメント別の売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

- 国内では、プレート事業の製品ラインアップの見直しや価格改定などの施策を実施した結果、売上げは前年同期を上回る。
- 海外では、韓国はスマートフォン向けが堅調に推移し、中国も緩やかに持ち直したことから、売上げは前年同期を上回る。

# セグメント別業績状況

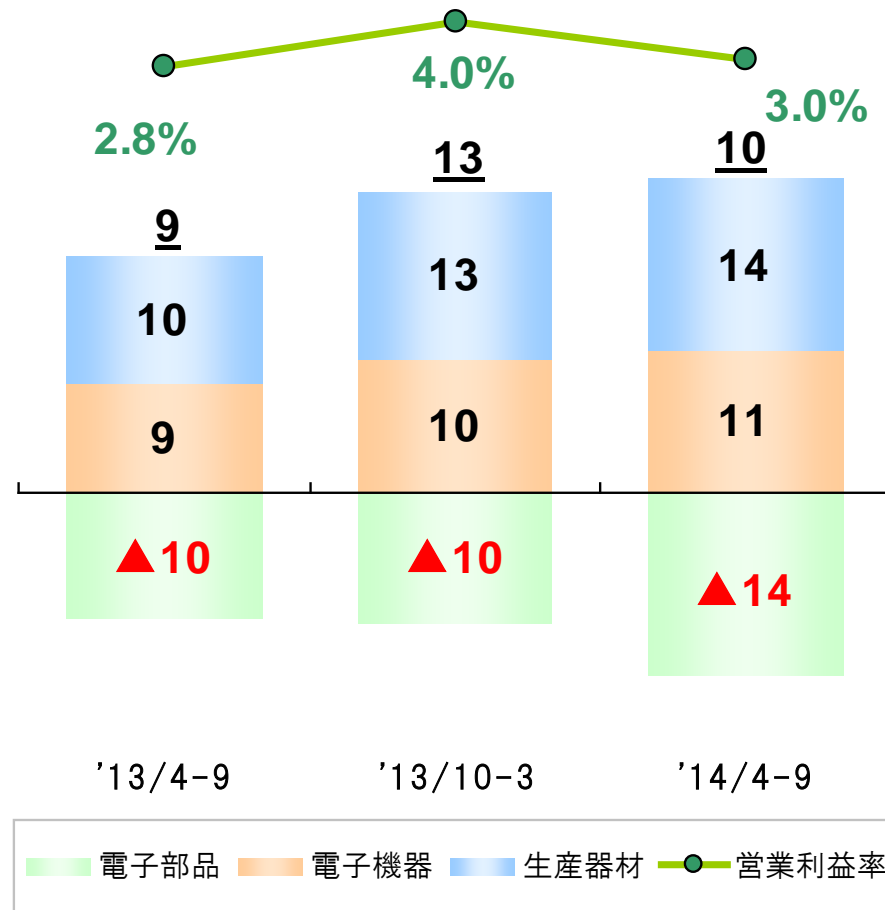
## 売上高

金額単位：億円



## 営業利益

金額単位：億円



※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

# 四半期別業績推移 (1)

(金額単位:百万円)

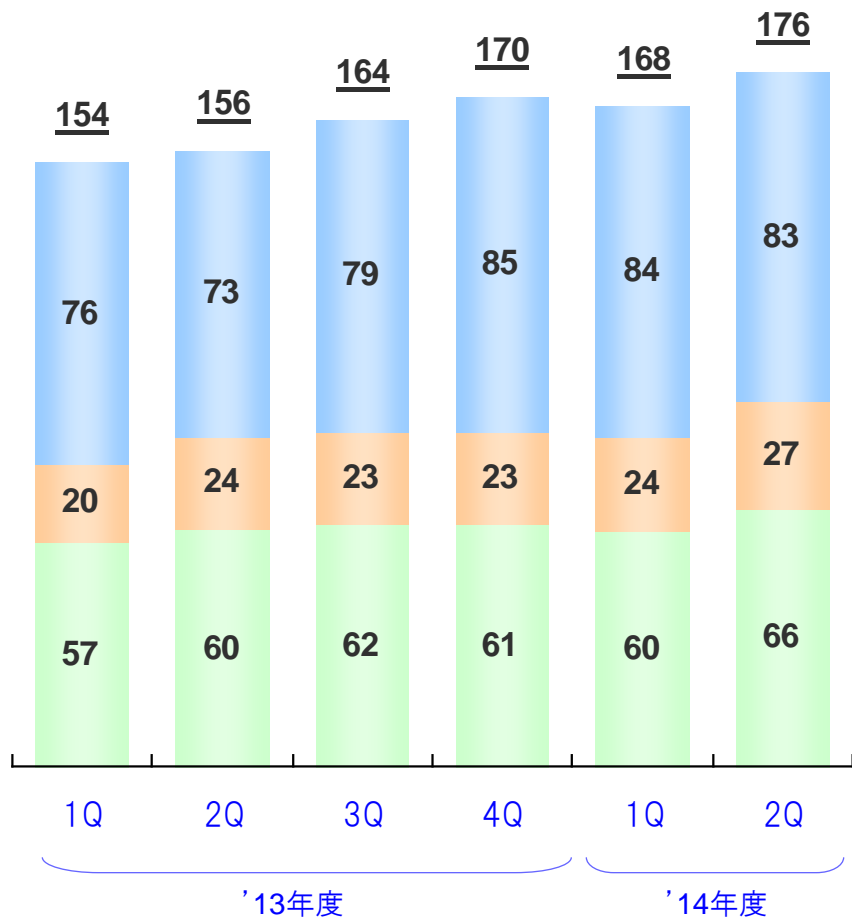
	'13年度				'14年度		前年同期比		直前四半期比	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	比率	増減額	比率
電子部品	5,711	6,014	6,176	6,131	5,959	<b>6,570</b>	555	109.2%	610	110.2%
電子機器	1,997	2,370	2,319	2,343	2,401	<b>2,707</b>	336	114.2%	305	112.7%
生産器材	7,648	7,259	7,894	8,488	8,409	<b>8,339</b>	1,079	114.9%	<b>▲70</b>	99.2%
売上高	15,352	15,643	16,390	16,963	16,768	<b>17,616</b>	1,972	112.6%	847	105.1%
電子部品 利益率(%)	<b>▲479</b> (▲8.4)	<b>▲515</b> (▲8.6)	<b>▲392</b> (▲6.4)	<b>▲635</b> (▲10.4)	<b>▲778</b> (▲13.1)	<b>▲665</b> (▲10.1)	<b>▲150</b>	—	112	—
電子機器 利益率(%)	327 (16.4)	544 (23.0)	576 (24.9)	470 (20.1)	484 (20.2)	<b>639</b> (23.6)	95	117.5%	154	132.0%
生産器材 利益率(%)	610 (8.0)	385 (5.3)	779 (9.9)	545 (6.4)	711 (8.5)	<b>645</b> (7.7)	259	167.5%	<b>▲66</b>	90.6%
営業利益 利益率(%)	459 (3.0)	413 (2.6)	963 (5.9)	380 (2.2)	417 (2.5)	<b>619</b> (3.5)	206	149.9%	202	148.5%
(為替差損益)	(427)	<b>(▲161)</b>	(836)	<b>(▲301)</b>	<b>(▲215)</b>	<b>(905)</b>	(1,067)	—	(1,121)	—
経常利益 利益率(%)	1,172 (7.6)	470 (3.0)	1,968 (12.0)	176 (1.0)	467 (2.8)	<b>1,665</b> (9.5)	1,195	354.0%	1,197	356.0%
四半期純利益 利益率(%)	742 (4.8)	173 (1.1)	1,544 (9.4)	<b>▲664</b> (▲3.9)	<b>▲11</b> (▲0.1)	<b>1,189</b> (6.8)	1,016	685.2%	1,201	—
平均為替レート	98円/\$	98円/\$	101円/\$	103円/\$	102円/\$	<b>104円/\$</b>	6円/\$		2円/\$	
期末為替レート	99円/\$	98円/\$	105円/\$	103円/\$	101円/\$	<b>109円/\$</b>	11円/\$		8円/\$	

※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

# 四半期別業績推移(2)

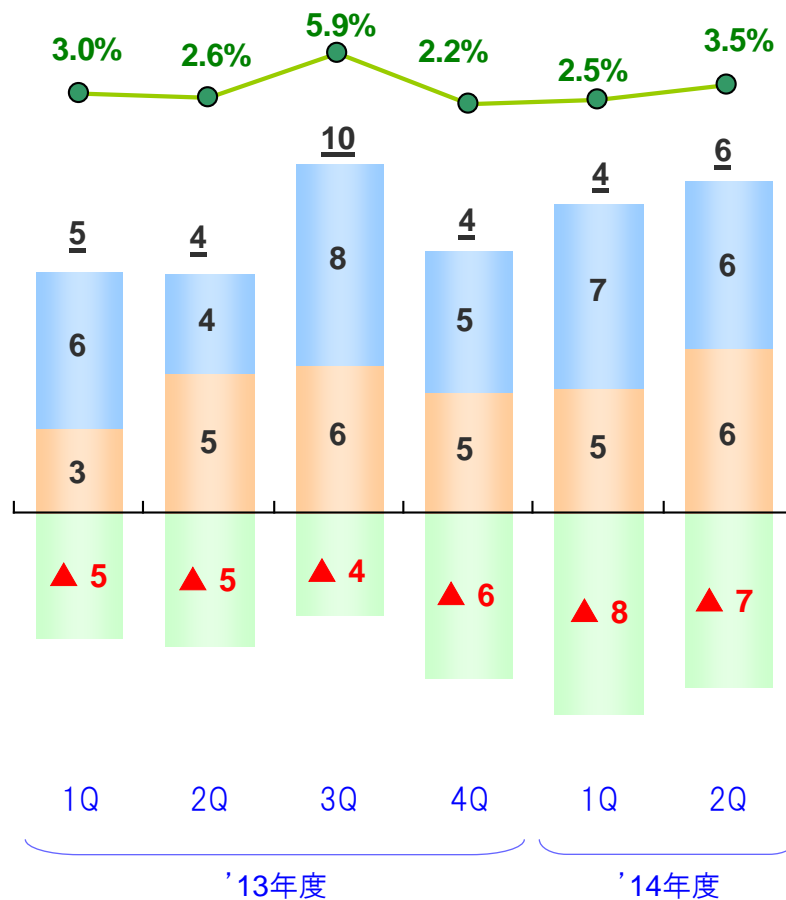
## 売上高

金額単位: 億円



## 営業利益

金額単位: 億円

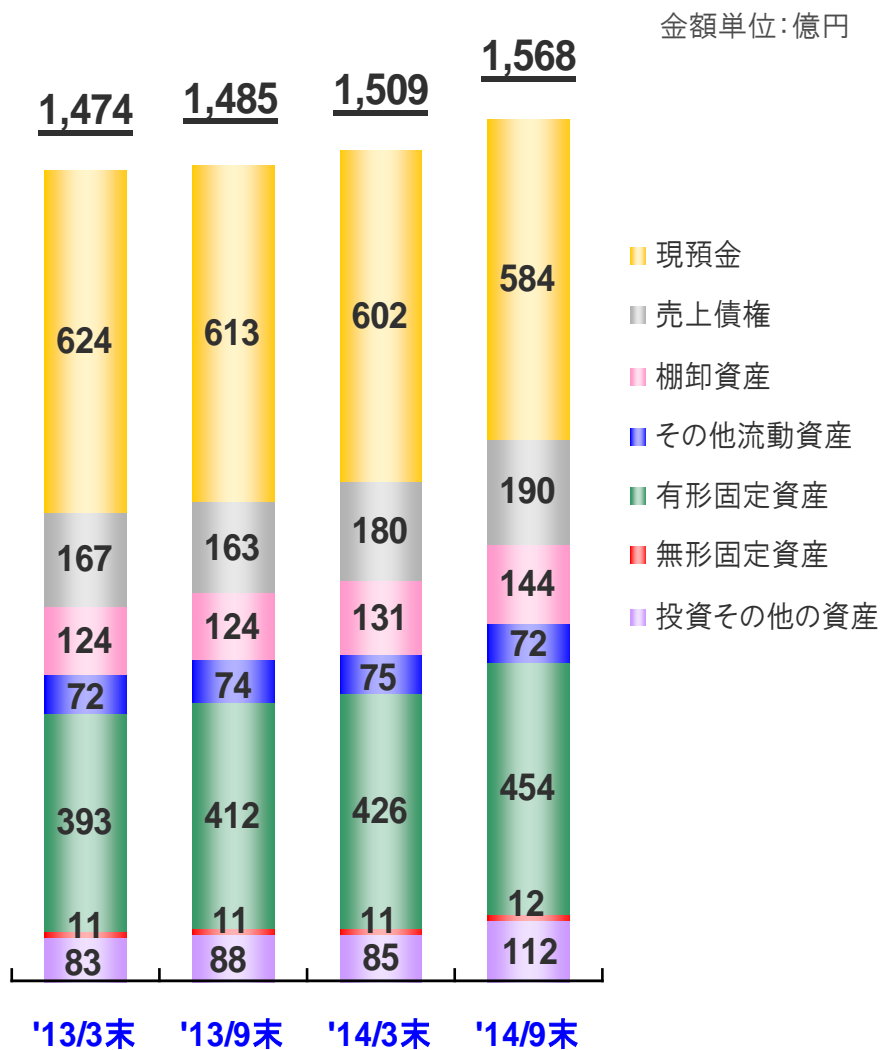


※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

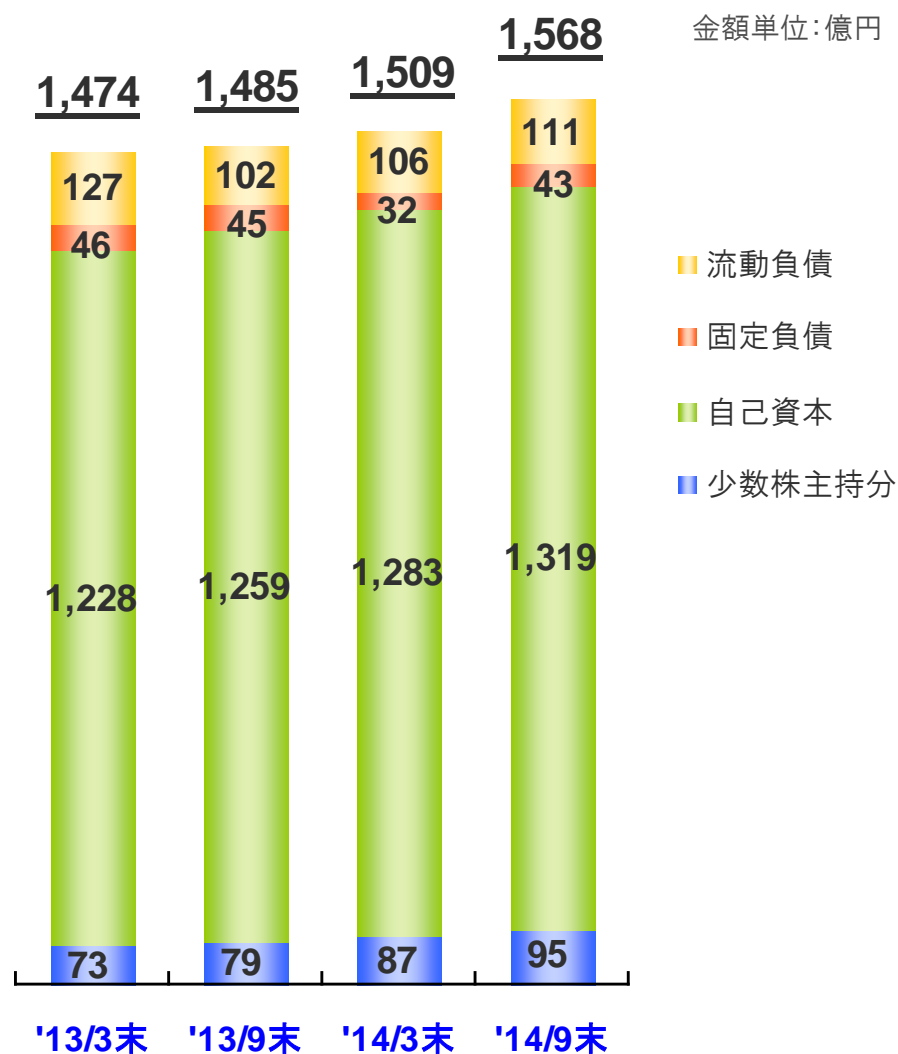


# 貸借対照表の概要

## 資産



## 負債・純資産



# キャッシュ・フロー

(金額単位:百万円)

	'13年度 ( '13/4~9)	'14年度 ( '14/4~9)	増減額	'13年度 (通期)
税金等調整前当期純利益	1,598	2,097	498	3,385
減価償却費	1,722	1,892	169	3,679
運転資金の増減				
売上債権	780	▲483	▲1,263	▲604
棚卸資産	461	▲641	▲1,103	75
仕入債務	64	▲37	▲101	186
その他 (※)	▲4,431	▲851	3,580	▲4,672
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	197	1,977	1,780	2,049
定期預金の増減	818	▲509	▲1,327	5,971
有形固定資産の取得・売却	▲2,164	▲2,995	▲830	▲5,323
投資有価証券の取得・売却	100	▲1,347	▲1,447	195
その他	181	26	▲155	8
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,064	▲4,825	▲3,761	852
借入金の増減	▲7	▲7	0	▲475
配当金の支払	▲444	▲621	▲177	▲975
その他	▲234	▲264	▲30	▲262
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲686	▲894	▲208	▲1,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	873	742		1,483
現金及び現金同等物				
期首残高	42,552	45,224		42,552
期末残高	41,872	42,225		45,224
増減額	▲679	▲2,999		2,672

(※)主な要因 '13年度('13/4~9): ▲2,802百万円(転進支援費用の支払)、 ▲555百万円(特別退職金の支払)

# 業績見通し(1)

(金額単位:百万円)

	'13年度			'14年度			前期比	
	4-9(実績)	10-3(実績)	通期(実績)	4-9(実績)	10-3(計画)	通期(計画)	増減額	比率
電子部品	11,725	12,308	24,034	12,530	<b>12,469</b>	<b>25,000</b>	965	104.0%
電子機器	4,367	4,663	9,031	5,108	<b>4,891</b>	<b>10,000</b>	968	110.7%
生産器材	14,908	16,382	31,290	16,748	<b>17,951</b>	<b>34,700</b>	3,409	110.9%
売上高	30,995	33,354	64,350	34,385	<b>35,314</b>	<b>69,700</b>	5,349	108.3%
電子部品 利益率(%)	<b>▲994</b> (▲8.5)	<b>▲1,028</b> (▲8.4)	<b>▲2,023</b> (▲8.4)	<b>▲1,444</b> (▲11.5)	<b>▲855</b> (▲6.9)	<b>▲2,300</b> (▲9.2)	<b>▲276</b>	—
電子機器 利益率(%)	871 (20.0)	1,047 (22.5)	1,919 (21.2)	1,123 (22.0)	<b>876</b> (17.9)	<b>2,000</b> (20.0)	80	104.2%
生産器材 利益率(%)	995 (6.7)	1,324 (8.1)	2,320 (7.4)	1,356 (8.1)	<b>1,443</b> (8.0)	<b>2,800</b> (8.1)	479	120.7%
営業利益 利益率(%)	872 (2.8)	1,343 (4.0)	2,215 (3.4)	1,036 (3.0)	<b>1,463</b> (4.1)	<b>2,500</b> (3.6)	284	112.8%
(為替差損益)	(266)	(535)	(801)	(689)	<b>(▲325)</b>	<b>(364)</b>	<b>(▲437)</b>	45.4%
経常利益 利益率(%)	1,642 (5.3)	2,144 (6.4)	3,787 (5.9)	2,133 (6.2)	<b>1,566</b> (4.4)	<b>3,700</b> (5.3)	<b>▲87</b>	97.7%
税引前当期純利益 利益率(%)	1,598 (5.2)	1,786 (5.4)	3,385 (5.3)	2,097 (6.1)	<b>1,214</b> (3.4)	<b>3,312</b> (4.8)	<b>▲73</b>	97.8%
当期純利益 利益率(%)	916 (3.0)	880 (2.6)	1,796 (2.8)	1,178 (3.4)	<b>321</b> (0.9)	<b>1,500</b> (2.2)	<b>▲296</b>	83.5%
平均為替レート	98円/\$	102円/\$	100円/\$	104円/\$	<b>105円/\$</b>	<b>104円/\$</b>	4円/\$	

※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

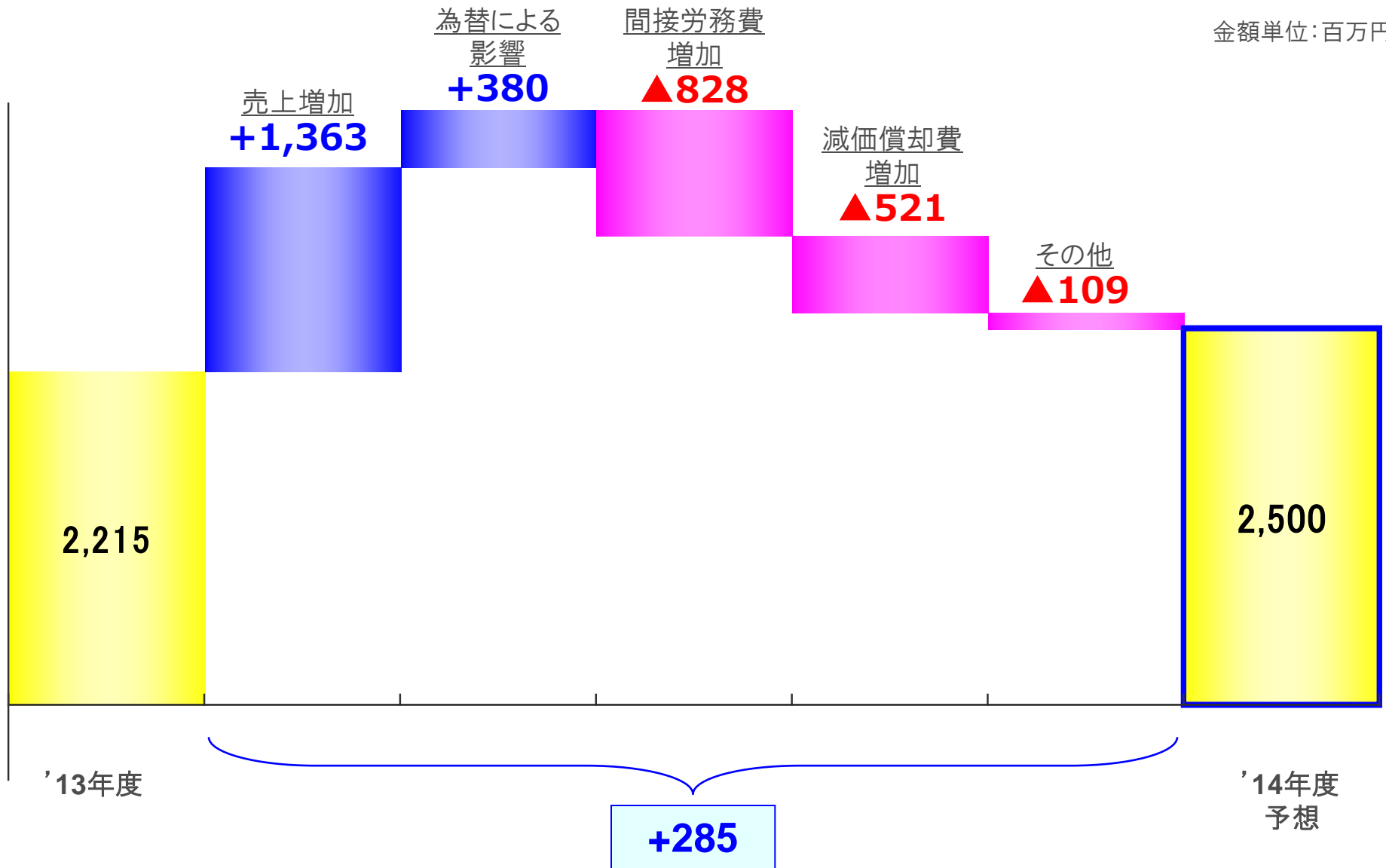
# 業績見通し(2)

(金額単位:百万円)

	'13年度			'14年度			前期比	
	4-9(実績)	10-3(実績)	通期(実績)	4-9(実績)	10-3(計画)	通期(計画)	増減額	比率
電子部品	1,504	1,129	2,634	1,977	1,822	3,800	1,165	144.2%
電子機器	103	86	190	132	67	200	9	105.2%
生産器材	1,184	2,069	3,254	1,226	1,773	3,000	▲254	92.2%
設備投資	2,793	3,285	6,078	3,336	3,663	7,000	921	115.2%
電子部品	779	900	1,680	845	1,154	2,000	319	119.0%
電子機器	100	96	196	105	94	200	3	101.6%
生産器材	843	958	1,802	942	1,057	2,000	197	111.0%
減価償却費	1,722	1,956	3,679	1,892	2,307	4,200	520	114.2%
電子部品	681	533	1,215	483	616	1,100	▲115	90.5%
電子機器	173	169	343	173	226	400	56	116.6%
生産器材	199	135	334	114	185	300	▲34	89.8%
研究開発費	1,054	837	1,892	771	1,028	1,800	▲92	95.1%
国内	1,398人	1,375人	1,375人	1,380人	1,397人	1,397人	22人	
海外	3,678人	3,804人	3,804人	3,865人	3,996人	3,996人	192人	
人員	5,076人	5,179人	5,179人	5,245人	5,393人	5,393人	214人	

# 業績見通し(3)営業利益増減分析

金額単位：百万円



## 注意事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいた見通しであり、為替などの潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。  
実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは異なる結果となり得る事をご承知おき下さい。
2. 本資料に記載されている金額は、百万円は単位未満を切り捨て、億円は単位未満を四捨五入して表示しております。